

12 2007  
DECEMBER  
No.41

大 南

contents

館長エッセイ 宇野 史郎 .....	1
特集：図書館ポータルサービス 『マイライブラリ』を活用しよう!! .....	2～5
news news .....	6～7
staff column 上野 照美 .....	8
図書館日誌 .....	8

### 館長エッセイ

## 情報リテラシー教育と大学図書館

今日、私たちの回りには膨大な量の情報が氾濫しています。その中から、自分自身の生活に必要な情報、大学での勉学や調査・研究に関わる情報、さらには教養・娯楽・レジャーに関する情報など、皆さんは一体どのようにして収集し、選択し、利用していますか。実際は、テレビ、新聞、書籍、雑誌、携帯電話、インターネットなどの各種の情報メディアから、自分の欲しい情報、しかも正しい情報だけを効率よく見つけ出すのは決して容易なことではありません。私たちはいつのまにか間違った情報に振り回されているのかもしれない。

こうした現代の情報社会において、私たちが生きていくには情報の正誤を正しく判断する能力、氾濫する情報の中から必要かつ正しい情報を収集・選択する能力、そして正確で有効な情報を発信・伝達する能力が求められています。まさしく、生涯をとおして情報を活用する能力、つまり情報リテラシーが必要な訳です。

先日、私立大学図書館協会の九州地区研究会がわが大学で開催され、「情報リテラシー教材が図書館を変える」というテーマで、早稲田大学図書館の仁上幸治氏に基調講演をお

願いました。仁上氏によれば、「大学内でも学生や教職員への資料面の支援だけでなく、図書館オリエンテーションや講習会、そして授業への直接的な支援（出前授業、教材提供、情報探索コンサルティング等）も、今後は重要な中核的サービスとなるはず。そのためにも、一般ビジネス社会でも通用するような新しい広報や情報リテラシー教育の普及・質的向上について、積極的に挑戦していく姿勢を持つことが必要不可欠になっている。」と。

わが大学図書館では、学生向けの情報リテラシー教育支援について目下のところ、新入生対象ガイダンス（図書館の利用方法及び検索方法の説明、OPACによる蔵書検索、館内案内ツアー等）とステップアップガイダンス（雑誌記事論文・新聞記事の探し方などのデータベースの使い方の修得等）を実施しています。しかし、これらで十分だとは決して思っていません。

ビジネスを芽吹かせる、文化を育てる、市民社会を支える、そんな「知的インフラ」としての図書館。改めて、大学図書館としての使命を再確認するとともに、あらゆる場面での「利用者の満足度を高めていく」努力が欠かせないと考えています。

### 宇野 史郎 (うのしろう)

商学部教授  
専門：都市流通とまちづくり  
平成16年1月から図書館長  
「知的インフラ」として「利用者の満足度を高めていく」努力が欠かせない



Uno Shirou

## 図書館ポータルサービス 『マイライブラリ』を活用しよう!!

### 機能編

情報の整理に困っていませんか? もっと便利に図書館を利用してみませんか?

『マイライブラリ』とは、みなさんが図書館を利用する際に、情報収集・整理を自分でできるポータルサービスです。情報リテラシー(情報の収集・整理する能力)を身につけるツールとしても活用できます。図書館のホームページの「OPAC(蔵書検索)画面」を利用するように、図書館や学内にあるパソコンからだけでなく、自宅のパソコンでも利用できます。

まずは、気軽に『マイライブラリ』にアクセスしてみてください。



### マイフォルダ

### あなたオリジナルの整理箱を作ろう!

様々なキーワードで調べた検索結果をあなたオリジナルの見出しをつけて、資料情報のフォルダに保存できます。



ゼミの課題についての参考資料がいくつか見つかったから、フォルダに入れておこうと。時間をみて、とりあえず関連した資料を集めるのだけはやっところ。



ほく、近ごろ語学学習にはまってるんだ。英語や韓国語、中国語それぞれにフォルダを作って、単語集や会話の本や検定試験の問題集など集めて入れておこうかな。



OPACで調べた資料をそのつどフォルダに入れておけば、次に検索する手間が省けるよ。

### 新着情報

### あなたが探している本、届きました。



あなたが興味を持った事柄をキーワードとして登録しておくだけでいいよ。新しい本との出会いがあるかも。

あなたが前もって指定しておいた条件に当てはまる図書が新しく入ってきたらお知らせが表示されます。



この本、最近話題になってたから一度読んでみたかったの。話題性のあるものっていくつも本が出されることがあるし、図書館に新しい本が入ったのを知らせてくれるのは、ちょっと楽しみだね。

わたし、中学校の英語教師になるのが夢なの。だから、英語の勉強だけじゃなくて、教育の現場のことも勉強しておかなきゃ。「中学校」や「英語教育」のキーワードで登録してみようって。

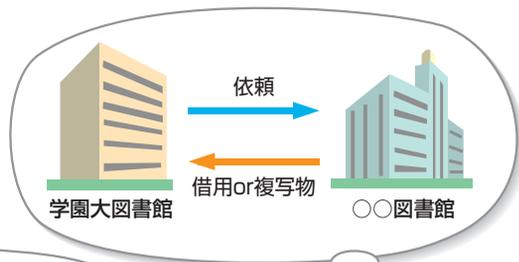


## 入手待ちの資料

依頼した本の処理状況を確認できます。



予約した資料や、他大学への文献複写、借用を依頼した資料の処理状況・到着等の確認がおこなえます。



先週、A大学の図書館にある雑誌記事のコピーをお願いしたけど、どうなったかな？

へえ～、他の図書館にある本や雑誌のコピーも図書館で取り寄せてもらえるんだね。知らなかったな。



## 借用中の資料

借りている本のタイトルや返却期限を忘れたら？



現在借りている本のタイトルと返却期限が簡単に確認できます。同様に、他の大学図書館などから借りている本がいつまで利用できるかの確認もできます。



今借りてる本のタイトルが思い出せないな。  
返却日はいつだった？  
しまった！返却日は昨日だった！

『マイライブラリ』を使えば、借りてる本の返却期限は簡単に確認できるよね。  
読み終えそうにないときは、前もって貸出の延長もできるんだよ。



## お知らせ

図書館からあなたへのお知らせです。



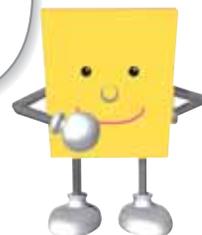
図書館からあなたへのお知らせが表示されます。例えば、返却期限が過ぎた図書については返却のお願いなどです。また、予約した資料があるときや文献のコピーや借用を依頼したときは、資料の到着のお知らせも行っています。

## 『マイライブラリ』を利用するには…？

利用の際は、利用者IDとパスワードが必要です。

例) [fe07999@f.kumagaku.ac.jp](mailto:fe07999@f.kumagaku.ac.jp)のメールアドレスを持っている方の場合、利用者IDはfe07999となります。また、パスワードはメール送受信時のパスワードと同じです。

それじゃ、実際に情報がどのように表示されるのを見てみよう！



# 特集

## 『マイライブラリ』を活用しよう!!

### 実用編

それでは、実際に『マイライブラリ』にいくつか条件を登録した例をみながら、実用面での機能を紹介します。



### マイフォルダ



通常OPACで調べものをした履歴は、検索画面を閉じるとデータは消去されますが、マイフォルダを利用することで、ブックマークしたものを恒久的に保存できます。例えば、講義に関する資料、就職活動に関する資料、サークルに関する資料というようにフォルダごとに整理しておくとも便利です。フォルダ内冊数も表示します。

マイフォルダは30フォルダまで作ることができ、各フォルダには100件の資料データを保存できます。

### 新着情報



あなたが探している資料の受け入れ情報をタイムリーにお知らせしています。表示される期間は、大学で利用できるようになった日(新着日)から7日間です。同時に、資料の配架場所や貸出状況の確認もできます。

右の例のように、キーワードを「パソコン」一つにして幅広く新着情報をキャッチすることもでき、「日本」と「対外関係」というように複数キーワードを登録して条件を絞込むこともできます。

登録できる条件は最大10件ですが、登録されている条件はそのつど変更や削除することもできます。キーワードの件数は過去一年間に図書館に入ってきた資料の数を表しています。



### VOICE

経済学科4年 野尻智文美さん

マイライブラリで便利なのが、「あれ?私、何借りてたっけ?」と不安になった時に、借りている本の書名や、返却期限を確認できる機能です。それ以外にも、私はマイフォルダ機能で、卒論や授業で使うため資料を集めて整理しています。使いたい資料の所在や貸出状況がひと目でわかり、いちいち検索を行なう必要がないので便利です。条件を自分で設定して、その条件に当てはまる新着図書を紹介してくれる機能もあります。私の場合、「京極夏彦」や「宮部みゆき」など好きな作家の名前を登録しています。個人的には、今後資料のリクエスト機能も追加してもらえると、更に便利になると思います。マイライブラリは、とても便利なツールなので皆さんも是非活用してください。



図書購入のリクエストも『マイライブラリ』上で申込み可能となります。少々お待ちください。

## 入手待ちの資料



他大学・研究機関が所蔵している資料の場合は、『マイライブラリ』から借用依頼や複写依頼をおこなうことができ、さらに依頼の処理状況を確認できます。また、図書館の予約をしている利用者へも処理状況をお知らせいたします。本学所蔵の資料で貸出中の場合は、カウンターでの予約受付となります。

「OPAC（所蔵検索）」では本学図書館で所蔵している資料に加えて、NACSISのWebcatを利用して他大学・研究機関の所蔵資料も検索することができます。



## 借用中の資料

**借用中の資料**  
7件の資料を借りています。 [詳細を見る](#)

**借りている資料一覧**  
マイライブラリ > 借りている資料一覧

資料ID: 00000000

1. ライトハウス英和辞典、[装訂]  
竹林註、小島義郎編、研究社、1984、資料ID: 00414348、延長回数: 0回  
● すぐに返却してください。返却期限は2007/11/08でした。
2. ポケット六法、平成10年版  
加藤一郎 [2カ]編、有斐閣、1978、資料ID: 00667222、延長回数: 0回  
● すぐに返却してください。返却期限は2007/11/08でした。
3. 情報/ラシー入門  
慶應義塾大学日語メディアセンター編、慶應義塾大学出版部、2002、資料ID: 2007/11/22まで返却してください。



利用者自身の貸出状況の確認が簡単におこなえます。

読み終えそうにない場合は貸出期間の延長ができますので、1階カウンターで延長手続きをとってください。返却日を過ぎてしまうと、新たな貸出サービスが受けられませんので注意してください。

**入手待ちの資料**

- 予約した資料が1件あります(予約中:0件)。 [詳細を見る](#)
- 他機関に貸出を依頼している資料が1件あります。 [詳細を見る](#)

**借用依頼した資料一覧**  
マイライブラリ > 借用依頼した資料一覧

**借用中の資料**  
ありません。 [他大学図書館から借用している資料のタイトルと到着日、いつまで利用できるかが表示されます。](#)

**到着済みの資料**  
ありません。 [コピーを依頼した雑誌のタイトルと論文記事のタイトル、到着日が表示されます。](#)

**依頼中の資料 全1件**

1. オープン・マクロ経済学 / 大矢野栄次、矢野生子著  
申込番号: BW-00108

## お知らせ



各利用者へ予約していた本の到着通知や、返却期限が過ぎた図書についてのお知らせを行っています。

**お知らせ**

予約した資料の準備ができました。

1. グレート・ギャンビー、愛蔵版、スコット・フィッツジェラルド著/村上春樹訳、中央公論新社、2006、予約番号: 00003044  
● 資料の準備ができました。貸し出せます。

返却期限を過ぎた資料があります。至急返却してください。延滞資料を返却するまでは、新規の貸し出しができないことがあります。

1. ライトハウス英和辞典、[装訂]、竹林註、小島義郎編、研究社、1984、資料ID: 00414348、延長回数: 0回  
● すぐに返却してください。返却期限は2007/11/08でした。



印刷物やインターネットといったさまざまなメディアを利用して、膨大な情報を収集し、活用するためには、各自が収集した情報を使いやすく整理しておくことが重要です。

今回、ご紹介した『マイライブラリ』は、情報の収集、整理という面で、みなさんの学習・研究をお手伝いする機能を持っています。利用について分からない点はお気軽にお尋ねください。図書館はこれからも、みなさんの「学習・研究」をサポートするため、サービスの拡充に努めます。

みなさん、楽しく、気軽に『マイライブラリ』を活用しましょう！

本学で採用している図書館システム「LIMEDIO」は、株式会社リコーの登録商標です。

## ライブラリー探検 オープンキャンパス2007

「オープンキャンパス2007」は、7月22日、8月7日、10月20日の3回にわたって行われ、県内高校をはじめ、県外からも多くの高校生や保護者が本学を訪れました。プログラムには、学科紹介をはじめとして、入学や就職、学生生活などについての個別相談のほかキャンパス内の施設見学があり、図書館では「ライブラリー探検」として、3回の開催で1,500名を超える見学者が訪れました。

「ライブラリー探検」に訪れた高校生たちは、普段利用している高校の図書館とは違う本学図書館の規模の大きさや学習・研究を行うための整った設備、数多くの図書や学術資料に目を見張らせながら、興味深く熱心に見学していました。見学者のなかにはOPACによる蔵書検索をしたり、書架をゆっくり眺めなが



見学に訪れる高校生

ら本や雑誌を手にししたり、また、AVコーナーでは音楽やDVDを視聴したりなどして、図書館をじっくりと体験する高校生の姿もみられました。

入学後は、これらの図書館機能を充分活用して学生生活に役立ててもらいたいと願っています。

## 『ナイストライ』職場体験受入れ

熊本市立帯山中学校の2年生が、9月11日から13日までの3日間、本学図書館で職場体験実習を行いました。同校の「ナイストライ」事業推進の依頼を受けて行っているもので、今年も9名の中学生が図書館業務について熱心に取り組みました。当初、多くの蔵書を



目録作業での実習の1コマ

眺めながら、実習内容への戸惑いで緊張していた生徒も次第にスタッフの中に溶け込んで、わからないところや疑問に感じた点など質問する場面もみられるようになり、図書のラベル貼り(装備)や書架に本を並べたり(配架)、またカウンターでの図書の貸出・返却の実習など一つ一つを確かめながら一所懸命取り組んでいる姿が印象的でした。

三日間の実習を終えて、「図書館が大きくてびっくりした」、「図書館の仕事は本を並べたり貸し出しすることだと思っていたが、その裏でラベルを貼ったり、データをパソコンに入力する仕事などがあって、表に見えない人の努力があることがわかった」、「本を運ぶときは重くてきつかった」など、素直な気持ちを感想として寄せていました。

## 平成19年度学生懸賞論文応募状況

平成19年度の学生懸賞論文の応募受付が9月28日に締め切られました。今回は、昨年度を大きく上回る14篇(うち2篇は共同制作)の応募がありました。現在、論文審査が行われており、12月上旬には入賞作が決定します。12月中旬に予定されている入賞者表彰式には、入賞者の論文作成にまつわるエピソードなどを発表する場が設けられています。多くの方々のご参加をお待ちしております。なお、入賞作の発表・表彰式日程等は、館内掲示物ならび図書館ホームページでお知らせします。

## 図書館実習 ～座学だけでは学べないこと～

図書館では毎年、司書および司書教諭資格の取得を目指す本学学生の実習受入・指導を行っています。この実習は図書館司書課程の講義・演習で学んできた理論を実際に現場で実践することにより、具体的な技術の習得を図ることを目的としています。本学では第一部の全学科で司書および司書教諭資格取得のための課程を設けており、実習は「図書館特論」として4年次での選択科目となっています。今年は9名の学生が実

習に取り組みました。期間は10月20日から26日までの一週間で、館内の各係を一巡し、総合的な判断ができるような実習内容となっています。

実習生は①図書・雑誌の受入②目録業務③閲覧業務④雑誌・視聴覚資料の利用提供⑤レファレンス業務といったさまざまな種類の仕事を手がけ、毎日張り切った表情でそれぞれの課題に取り組んでいました。

### 図書館実習を終えて…

商学科4年 田中 伸昌

今回の実習を通して私は、図書館に対するイメージが固まりました。今まで座学で学んだ通り陰に隠れた地味な作業が多いと感じています。決して派手さはないですが、利用者のためにコツコツとやる作業が多く、体を動かす事の方が性に合っている私には、地味に感じたのかもしれませんが、レファレンスのサービスが実践できなかったのは非常に残念でした。実際の利用者からの質問を待つより、模擬的に調査してみたいと思います。この一週間は自分が司書として働ける最後のチャンスだったので大変勉強になりました。

福祉環境学科4年 前田 佳菜子

一週間の図書館実習を終えて、今まで授業で学んできた事と実際の現場の仕事を結びつけることができ、良い経験になったと思う。図書がどのようにして利用者の手元に届いているのか、運営方法や裏方の仕事を一通りやらせていただいて、利用者ではなく司書の立場から図書館について見つめ直す事ができた。司書の目線に立って図書館を見てみると今まで知らなかった機能も確認出来たり、学生の図書館利用についても考えさせられた。今回の実習は、司書を目指す学生にとって、現場を知れる大変意義のあるものであった。

## 本学で九州地区研究会を開催

平成19年度の私立大学図書館協会西地区部会九州地区研究会が、8月24日、本学の当番で新築なった14号館（60周年記念会館）で開催されました。メインテーマを「利用者を知る、利用者に伝える～図書館サービスの深化をめざして～」とし、36大学から66名の図書館関係者の出席がありました。

午前には、早稲田大学図書館の仁上幸治氏を講師に迎え、演題「情報リテラシー教材が図書館を変える—『情報の達人』が切り拓いたもの—」の講演。斬新な切り口で会場を魅了しました。午後からは、研究発表ローテーション校である九州共立大学、九州情報大学、熊本学園大学が研究発表を行い活発な質疑が展開されました。

なお、研究会後の懇親会は、メルパルク熊本に会場を移し熱心な意見交換となりました。



早稲田大学・仁上幸治氏



先日、図書館を利用中の学生と話しをしたら「座る机は、だいたいいつも同じで、勉強に集中できる場所」という事だった。人は、それぞれに理由は様々だが、自然に居心地の良い場所や空気、時間などを選んでいと思う。空気と書いたが、私の中では雰囲気や温度、構成だったり色々なものを含んでいる。

本学の図書館は書架・大小の閲覧用の机、個室やグループ学習室などの配置も考慮され、学生や教職員でなくても、準じた規則で図書館を利用できる。それに開館時間も他と比べ物にならないくらい長時間だ。仮に私が一般の一利用者であれば“とても有難い”と思うだろう。もし、近所であれば“ラッキー”と言う以外にない。歩いて行ける自宅そばの熊本市の公民館図書室よりも私にとっては数倍居心地が良いと思われる。バス代を使っても、学園大の図書館を時々利用させてもらうのではないかな？とも思う。

因みに、私が気に入っている閲覧用の机の場所は、一階の東側の窓際で、特に初夏から秋の時期である。夏は木立の緑が涼しげで直射日光が入ることもなく、秋は紅葉を楽しむ事ができる。

「木陰では空気温度だけでも5℃程度は下がる」らしい。ただ、館内の空調設備に直接の影響があるか分からないが、真夏に学内の銀杏並木の下を歩くと、なんとなく爽やかな風を感じるので、これは本当の事だと思う。

最近、屋上緑化・壁面緑化が推進されているとニュースなどで耳にする。実際、私がそれを目にしたのは6年前、熊本交通センター近くのビルの屋上だった。森の都といわれる熊本でも、建物が密集している区域では環境により対策を積極的に検討されているようだ。そして、緑に恵まれた居心地のよい学園大にあらためて感謝したい。

目録係 上野照美

## 図書館日誌 平成19年4月～11月

### 見学者

- 5. 9 慶誠高等学校 23名
- 6. 7 阿蘇清峰高等学校 21名
- 6. 8 高森高等学校 25名
- 6. 12 大田大学校(韓国) 5名
- 6. 23 熊本地区保護者懇談会 55名
- 7. 2 鹿本高等学校PTA 26名
- 7. 5 阿蘇高等学校 15名
- 7. 6 城北高等学校 25名
- 7. 11 南稜高等学校 41名
- 7. 13 翔陽高等学校 9名
- 7. 18 小国高等学校 41名
- 7. 23 熊本学園大学OB会 13名
- 8. 2 荒尾高等学校 7名
- 10. 3 植木町立鹿南中学校 20名
- 10. 10 熊本商業高等学校 73名
- 10. 10 東稜高等学校PTA 21名

- 10. 10 湧心館高等学校 30名
- 10. 11 熊本商業高等学校 100名
- 10. 16 鹿本商工高等学校 40名
- 10. 24 牛深高等学校 30名
- 10. 24 日田高等学校PTA(大分) 35名
- 10. 26 多良木高等学校 72名
- 10. 31 三養基高等学校(佐賀) 56名
- 11. 15 対馬市立難知中学校(長崎) 58名

### 行事

- 4. 5 入学式
- 4. 6 新入生オリエンテーション
- 4. 10～6. 12 図書館ガイダンス
- 5. 16 図書館委員会
- 6. 23 熊本地区保護者懇談会 図書館開放
- 7. 7 インターライブラリー親善スポーツ大会

- 7. 14 休館(台風接近による臨時休館)
- 7. 22 オープンキャンパス図書館開放
- 7. 23～8. 4 春学期定期試験特別開館
- 7. 26 図書館委員会
- 8. 1～9. 25 夏期休業特別貸出
- 8. 7 オープンキャンパス図書館開放
- 8. 24 私大図書館協会西地区部会九州地区研究会
- 9. 11～9. 13 帯山中学校ナイスライ(職場体験実習)受入れ
- 9. 28 学生懸賞論文募集締切
- 10. 20 オープンキャンパス図書館開放
- 10. 20～10. 26 図書館実習
- 10. 24 図書館委員会
- 10. 31 図書館委員会
- 11. 18 休館(推薦入試)
- 11. 21 学生懸賞論文選考委員会

図書館報『大楠』第41号をお届けします。  
 特集『マイライブラリー』を活用しよう!!”いかがでしたか。  
 ほんの少しでも、『マイライブラリー』を使ってみようかな、  
 という気持ちになっていただけたでしょうか？  
 利用者のみならずご意見・ご質問をスタッフ一同  
 心よりお待ちしております。

### 編集後記

## 大楠 第41号

2007年12月13日

編集・発行/熊本学園大学付属図書館  
 〒862-8680 熊本市大江2丁目5番1号  
 TEL (096) 364-5161 FAX (096) 362-5967  
<http://www.lib.kumagaku.ac.jp/>

